

予算特別委員会の審査

平成22年度の各会計補正予算及び平成23年度の各会計予算を審査するため、予算特別委員会を設置し、5日間にわたり審査が行われました。主な質疑の内容は次のとおりです。

補正予算

質疑 保育所改修事業内容と第4・第5保育所の建て替え計画は。

答弁 第4保育所は3歳児教室の床張り替えとトイレ改修、第5保育所は床張り替えです。建て替えは、総合計画に基づき検討します。

質疑 減債基金の目的と将来的な考え方・今後の積み立てのルール化の検討は。

答弁 今回は元利償還対応のための積み立てです。将来的な財政対応については平成23年度中にルール化をし、積み立てについて今後検討をしていきます。

質疑 ばんどうの湯の源泉が減少。枯渇時の対策は。

答弁 年1回の湯量調査では目立った変化はありません。

ん。枯渇対策については推移を見ながら、検討します。

質疑 小野上中学校屋内運動場耐震補強工事は平成24年度までの事業。県のヒアリングまで受けて決めた事業の中止理由と、学校統廃合が裏にあるのでは。

答弁 地域審議会から指摘を受け、老朽化により建て替えに変更し、合併特例債は取り下げました。学校統廃合との関連はありません。

新年度予算

質疑 東日本大震災により中止したイベント費用を、災害対策に回せないか。今後の対応で、予備費を増額すべきと思うがいかがか。

答弁 華やかなイベントは中止すべきです。市内の復興費に約3億円かかると見

込み、今後もきちんとした財政運営に努めていきます。

質疑 交付税圧縮の通達は市にあったか。あったときの対応は。また、法人税は減収で、厳しいのでは。

答弁 交付税についての連絡はありませんが、情報を収集して対応していきます。法人税収に大幅な減額のある場合には、補正予算等で対応していきます。

質疑 市長は職員を減らし賃金も減らす考えでは。

答弁 民間の活力が基本です。渋川市の無駄をなくすのには人件費に手を加え、小さな行政にしていかなければなりません。

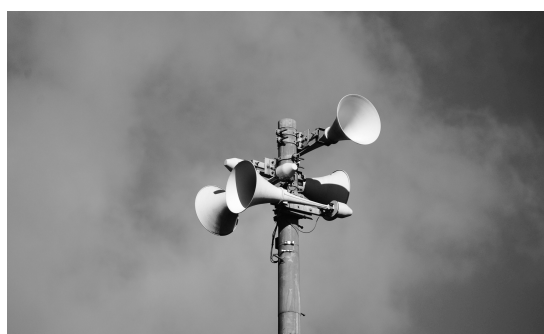
質疑 入湯税は目的税。使い道をはっきりすべきでは。

答弁 入湯税の使用については多岐にわたっています。今後検討していきます。

総務費

質疑 防災無線は全戸に聞こえるような対応が必要だが、受信機配布の考えは。

答弁 個別受信機の購入等については、デジタル化に



市内各地に配備されている防災無線

向けて整備していきます。

質疑 防災訓練は各地区ごとに毎年実施すべきでは。

答弁 体制を整える必要があり、今後考えていきます。

質疑 赤城地区の投票所を20か所から11か所に削減したが、効果はあったのか。

答弁 人件費等で約300万円の経費削減です。交通手段を持たない人の対策も必要ですが、とりあえず近所誘い合わせての行動をお願いしたいと考えています。

質疑 (仮称) スポーツ振興地域活性化構想基礎調査事業とは、どのようなことを目指すのか。

興地域活性化構想基礎調査事業とは、どのようなことを目指すのか。

答弁 サッカー場を10面つくるなど、財源への波及効果を求めていく群馬大学の柳川教授による構想を打ち立てるための調査をしつかりとしていきます。

質疑 バス利用促進敬老割引補助事業の利用券購入は、もっと簡易にすべきでは。

答弁 1回目はバス営業所で購入してもらい、2回目以降はバスの中で購入できるように考えています。

民生費

質疑 敬老祝い金事業について金銭支給を温泉券・商品券等に変えてはと思うが、今後の考えは。

答弁 増え続ける高齢者に対し、意見も含めて総合的な高齢者対策を検討していきたいと考えています。

質疑 小野上福祉センターの風呂は現在、温泉ではないと聞いている。実態は。

答弁 昨年のはじめごろから中止となっています。引き続き様子を見ています。

質疑 緊急通報システムの受け付けは総合支所に対応可能か。ひとり暮らし世帯

数と利用者数、対応内容は。

【答弁】 緊急通報システムの受け付けは、本庁及び支所で対応しています。平成22年1月末日では648人が利用。ひとり暮らし世帯は平成22年6月現在で2062人です。事業者が一報を受け現地へ、必要であれば市職員に連絡し対応しています。

【質疑】 狂犬病事業の犬の登録数とワクチンの接種数は。

【答弁】 平成22年度は6993頭が登録し、ワクチン接種犬は5344頭です。

【質疑】 洪川南小の学童保育所建設位置は、日陰にならないか。また壁について、音の吸収効果等の検討は。

【答弁】 校庭の北西で日当たりは大丈夫です。音の吸収効果等については担当者と相談して決めていきます。

労働費

【質疑】 補助金支給団体と、補助金の使われ方は。

【答弁】 勤労者協議会が北橘地区に1団体、連合群馬地域協議会が27団体、洪川北

群馬地区労働組合会議は8団体です。活動内容は申告相談、クリーンキャンペーン、労働相談等です。

農林水産業費

【質疑】 群馬のコンニャク国際競争力強化対策事業の具体的業務内容は。またコンニャク消費に対する指導は。

【答弁】 新品種「みやまざり」奨励のための機械購入等の補助。消毒については「消毒適正化講習」を実施。農家にはトラブル防止の協力をお願いしています。

【質疑】 棚下不動の水は農業用水として利用している。地震により水路がふさがれている。今後どうするのか。

【質疑】 余震が収まったら自治会長と現地調査を行い、対応をしていきます。

【質疑】 地震により市主催の祭りはどうするのか。

【答弁】 白井宿八重ざくら祭り、小野上温泉祭りは中止、「花と緑」については延期を検討協議中です。4月・5月・6月のイベントは自粛し、7月以降は推移を見て判断していきます。

土木費

【質疑】 上信道川島・金井の計画は。また川島道の駅の方向性は。

【答弁】 川島地区は山側への変更要望があり、現在予備設計中で県と協議中、洪川西バイパスは協議会役員へ説明し、おおむね了解を得ています。道の駅については、県も前向きに支援をしていきたいとのことです。

教育費

【質疑】 小中学校適正配置準備事業の内容は。

【答弁】 合併後約600人の児童生徒が減少しています。適正な規模の学校の調

査・研究を行います。

【質疑】 小野上中学校体育館耐震事業の中止は、生徒の安全を無視したものである。だれの発言で計画変更したのか。

【答弁】 地域審議会において建設業の委員から指摘を受け変更しました。

【質疑】 財源不足が9億円を上回るのでは。予算のあり方、納税方法の拡大、検討は。

【答弁】 財源について年度末で再度検討しますが、推計では9億円の不足です。コンビニ納税は平成20年から実施済みで、クレジット納入は研究を進めています。納税回数についてはメリット・デメリットがあり継続的に対応を考えています。

後期高齢者医療関係

【質疑】 滞納繰越は何人か。資格者証発行者は何人。人間ドックの補助金とドックの種類は。

【答弁】 滞納繰越については354人を見込みました。資格者証交付の実績はあり

ません。人間ドックについては3分の2の助成で上限2万円です。ドックの種類には日帰り・一般・脳ドックがあります。

介護保険関係

【質疑】 住宅改修費受領委任制度の実施と周知は。

【答弁】 平成23年4月から実施します。ケアマネージャーとホームページ、広報により周知を行います。

病院関係

【質疑】 新規採用任期付き職員員の年収と病院経営実績は。

【答弁】 樋下田氏の年収は約813万円、東和銀行を経て群大財務調査役を退職した人です。そして群大医学部事務部長を経験した山口氏が週3日勤務します。

水道関係

【質疑】 3年後の料金改定で黒字になれば料金検討していくということだが。

【答弁】 5年を目途に料金算定を見直しています。平成23年度決算を見て算定しますが、平成26年度料金を改定しますが、その前に見直しを行っていきます。



春のコンニャク作業風景